

令和元年 後期昇段級試験応募規定

令和元年「後期昇段級試験」を下記の要領で実施いたしますので、奮って応募し自己の実力を
お試し下さい。

※ 現段級に関係なく、現段級より上位のどの部（S～C）にも応募できます。（但、成家をのぞく）

実用書		仮名			詩文書		漢字					部
⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
漢字細字・兵頭白慧先生書 。十一月号手本課題（No.404）	手紙文・大坪桂子先生書 。十月号手本課題（No.403）	伝紀貫之筆「高野切第二種」のうち 任意の箇所を臨書	条幅随意（仮名）・舟尾圭碩先生書 。十月号手本課題（No.403）	半紙随意（仮名）・舟尾圭碩先生書 。十月号手本課題（No.403）	半紙随意（詩文書） 。十一月号手本課題（No.404）	越前や とろりと青き 冬の海 （江國滋醉郎の句）	『書譜』十月号から十二月号の空海 「風信帖」のうち任意の箇所を臨書 （但、四字以上とする）	出藍（青は藍より出でる） 弟子が師よりもすぐれていること。	『書譜』十月号から十二月号の空海 「風信帖」のうち任意の箇所を臨書 （但、十字以上とする）	野鶴在鶏群（野鶴 鶏群に在り） 衆中で一人抜きんでていること	半紙随意（漢字） 。十月号手本課題（No.403）	半紙 タテ書
半紙 タテ書	半紙 タテ書	半紙 タテ書のみ	半紙 タテ書	半紙 タテ書	半紙 タテ書	半紙 タテ書のみ	半紙 タテ書	半紙 タテ書のみ	半紙 タテ書	半紙 タテ書	半紙 タテ書	半紙 タテ書

□ 一般部（毛筆）
一、課題

□ 一般部（硬筆）

※用紙（縦十八センチ×横十三センチ）を使用のこと。

⑤	④	③	②	①
暮らしに役立つ書（硬筆A）十一月号の課題を指定のサイズの便箋（26センチ×18センチ）に書きなさい。	（毛筆）漢字細字⑫の課題を右サイズの用紙に体裁よく書きなさい。	化けそうな 傘かす寺の 時雨かな 与謝蕪村の句 ちらし書 き	（硬筆）①の課題をヨコ書きにて受験	「枕草子」に、達筆で知られる藤原行成から清少納言に唐菓子が届く話がある。女性に物を贈る習いは古今東西を問わない。豊かな世なら花束、時代をさかのほれば食べ物も喜ばれた。 〆十一月号手本課題B

「成家」受験規定について

▽ 受験資格 現在毛筆師範正の人にかぎりません。
▽ 課題 平成三十年後期昇段級試験の課題に同じ。

▽ 出品作品

- (イ) 漢字半紙①を一枚。
- (ロ) 仮名半紙⑧を一枚。
- (ハ) 漢字半折②を二枚。
- (ニ) 臨書半折③を一枚。
- (ホ) 漢字半折半折④を一枚。
- (ヘ) 詩文書半折または半折半折又は横⑥を一枚。
- (ト) 仮名半折⑨を一枚。
- (チ) 硬筆課題①・⑤のいずれかを一枚。

計九枚

※ 出品作品の落款は雅号で記入し、雅号印を押して昇試清書作品として出品して下さい。

※ 「七、出品要領」ア～カに準じて出品下さい。

▽ 出品締切日 十一月三十日（土） 必着厳守

▽ 一次受験料 二〇、〇〇〇円（二次受験料は作品と共に前納のこと）

▽ 発表

。試験の結果については、合格、または不合格の通知を本人あてに
します。作品送付の際、住所、氏名を記入のうえ八十四円切
手をはった返信用封筒を同封して下さい。

。なお、一次合格者については、二次試験（実技と筆記試験）を実
施いたします。詳細については本人あてに通知いたします。

※ 二次試験合格者のみ「成家」として認定致します。

※ 11月号競書及び令和元年度後期昇段級試験締切は、11月30日(土)必着厳守です。

※ 二体とは、楷・行とか、隸・草など任意とする。(隸と楷や行と草の組み合わせは不可)
 ※ 参考手本希望者は、六項をよく読んでお申込み下さい。

(一 般) 硬 筆				(一 般) 毛 筆				部		
C (1級まで)	B (二段まで)		A (準五段まで)	S (師範まで)	C (1級まで)	B (二段まで)		A (準五段まで)	S (師範まで)	試験 挑 戦 部
ウ、 課題④ 一枚	ア、 課題① 一枚	オ、 課題① 一枚	エ、 課題⑤ 一枚	イ、 課題②・③と①を二体 計四枚	エ、 課題⑧ 一枚	ア、 課題① 一枚	イ、 課題① 一枚	ウ、 課題⑤と⑥ 計二枚	ア、 課題③・④ 計二枚	課題(ア〜オ)のうち任意のものを選び、 応募下さい。
エ、 課題⑤ 一枚	イ、 課題② 一枚	ウ、 課題③ 一枚	ア、 課題① 一枚	イ、 課題②・③と①を二体 計四枚	オ、 課題⑩・⑪・⑫ 計三枚	ウ、 課題② 一枚	エ、 課題⑦と⑧ 計二枚	イ、 課題④・⑤ 計二枚	ア、 課題③と②を二体 計三枚	
		エ、 課題④ 一枚	イ、 課題① 一枚	ウ、 課題③と①を二体 計三枚	イ、 課題① 一枚	ウ、 課題② 一枚	ア、 課題⑤と⑥ 計二枚	ウ、 課題④・⑤ 計二枚	イ、 課題④と②を二体 計三枚	
		イ、 課題① 一枚	ウ、 課題① 一枚	エ、 課題⑤と①を二体 計三枚	ウ、 課題⑦と⑧ 計二枚	ア、 課題① 一枚	イ、 課題② 一枚	ウ、 課題④・⑤ 計二枚	イ、 課題④と②を二体 計三枚	
2,500円	3,500円		5,000円	7,000円	2,500円	3,500円		5,000円	7,000円	受験料

二、一般部出品作品・受験料
 ※試験は現段級に関係なく、どの部(S〜C)にも応募できますが、現1級・現二段・現準五段の方は、それぞれ上の試験挑戦部で受験して下さい。(現在、級の方でもS部への受験可能です)

※ 現準五段(毛筆・硬筆)以上の方はA部での受験をお薦めします。

学 生 部				部
硬 筆		毛 筆		部
B、 十一月号規定手本課題 (※十月号規定手本課題は認められません) 一枚	A、 十月号規定手本課題と 十一月号規定手本課題 計二枚	B、 半紙にて受験 (十一月号規定手本課題)	A、 条幅¼にて受験 (十一月号条幅¼参考手本に準じたもの)	受験料
400円	600円	400円	600円	

二、学生部出品作品・受験料
 ※ 学生部毛筆・硬筆は各部門AまたはBのいずれかの受験とし、
 同部のA・B二部門での受験はできません。

硬 筆	毛 筆	部
B、各学年とも「書譜」十一月号規定課題 (十一月締切分)に同じ。	A、各学年とも「書譜」十月号・十一月号の 規定課題(十月・十一月締切分)に同じ。	課 題
用 規 定 紙 の	用 規 定 紙 の	用 紙
	半 紙	条 幅 ¼
	タ テ 書	タ テ 書

□ 学生部
 一、課題

三、作品締切日 十一月三十日(土) 必着厳守
 四、成績発表
 令和二年一月号「書譜」に掲載します。

五、認定証について

師範、特待生合格者には、認定証を贈るほか、本誌に顔写真を掲載し、その栄誉をたたえます。支部(代表者)は、合格者氏名及び顔写真(裏面に氏名記入)を「現代書研究社競書係」宛にご送付下さい。なお、認定証は支部(代表者)にお送りします。個人宛は別途送料が掛かります。

六、参考手本希望者は、揮毫料をそえ、返信用封筒(切手貼付宛名記入のこと)を同封の上、添削担当者(「書譜」最終頁参照)にお申し込み下さい。(※電話での申し込みは受付致しません)

☆書譜 裏面の先生方は、左記に準じた手本代となります。

※半折・半折 $\frac{1}{2}$ 横手本	一枚	三、〇〇〇円
※学生部条幅 $\frac{1}{4}$ 手本	一枚	八〇〇円
※半紙手本(コピー)	一枚	四〇〇円
※硬筆手本(コピー・一般部のみ)	一枚	三〇〇円

七、出品要領

ア、昇段級試験に限り、出品券は使用致しません。作品の左下に「現段階・氏名」を、また作品の右下には「支部名または代表者名」を横書きでつきりとお書き下さい。

(二枚以上ある場合も作品全部に書いて下さい。)

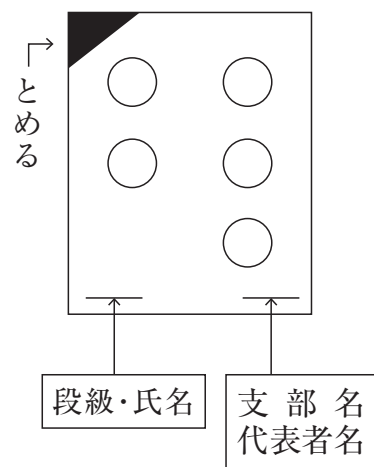
※作品は返却致しませんので、ご了承ください。

イ、各試験部で応募作品が二枚以上ある場合(一般部・学生部とも)は、作品を整えて左肩をホッチキス、または、のりできとめて下さい。なお、一般部半折又は半折 $\frac{1}{2}$ での受験の方は、段級・氏名の部分が見えるようにたたみ各試験部に分けて、提出して下さい。

ウ、一般部応募者の方は、作品の右肩に半紙作品には△A・BまたはC▽、硬筆作品には△S・A・BまたはC▽の試験部を赤でお書き下さい。

学生部硬筆を受験される方(△Aのみ)も試験部を赤で右肩にお書き下さい。

一般部(S・A・B・C)
 学生硬筆部(Aのみ)
 ※各試験部に別けて、まとめて下さい。



横書きで
 段・級・氏名・支部名等が見えるようにたたんで下さい。

エ、中学生については、学年をはつきりとお書き下さい。

オ、作品の送付については、月例競書と別封筒にし、封皮に「昇試作品」と朱書して下さい。

カ、受験料は出品点数一覧表(私製でもよい)に記入の上現金書留にて締切日までに送付して下さい。(切手代用及び振込は不可)

キ、試験は現段階に関係なく、現段階より上位のどの部(S・C)にも応募できますが、特に現1級・現二段・現準五段の方は、それぞれ上の試験挑戦部で受験して下さい。間違つて受験された場合、作品・受験料はお返し出来ませんので、ご了承ください。

ク 作品・受験料郵送先△出品要領オ・カに準ずること▽

〒802-0802 北九州市小倉南区城野二丁目三ー三五

サンシャイン21 B15棟

有限会社 現代書研究社

電話・FAX(〇九三)九二二ー四五三番